平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度 の実績評価)

記入年月日 平成 29 年 4 月 14 日

	事務事	事業名	₹E	らり健康に	プラン(の進行管理事業					新規/約	事業と 継続	継続	事務事業	担当 No. 020°	101000322
The	<i>\\\\\</i>	司事の状態な	7			の位置付け					単独/神		補助	所属課	(040401
郑恕	総合	計画の施策名 政策名	Ś	0201 02 安		建康づくりの推進 そらぎのある健康福	記述社会づる	<り		市長	主要事	[₿] 業 フェスト	対象 - 対象外		15	建康推進課
体		施策名		O1 健	康づく	(りの推進				未	æΡι	J事業	対象外	グループ	プ 仮	建康づくり
系	ž	基本事業名				城の啓発と健康づく の位置付け	りの推進					一事第 期 同		·		
	 	会計款	項		事業	細	一般会				期間	限定複	数年(成30 年度)
	去令根拠	01 04	01	1 02	02	00	保健事	美				期间	限定の場合、	総投入重を	(3) 投入	量の右側に記入
[[Do] ^	1. 事務事業(の現状	や把握(そ	きの1))										
		野業の概要 事業の概要(事務事	業の全体修	录)				2	担当者	が行う	業務の	内容・やり方	う・手順		
市民の健康増進に関する施策についてH2 H25年度は中間見直し時期で健康増進計 3計画を一体化させ新たにきらり健康プラ				1年3月に健康増進計画を策定した。 ①			1	①策定前年度は基礎データー収集とアンケートの実施→策定委員の委嘱 →策定委員会の開催(3回)→計画書(案)の作成→パブリックコメント								
				ンを策定し、5年毎に見直しを行い、 の				の実施→議会への報告②年度ごと				囲書(案)の作成→ハフリックコメント の計画と進捗状況の確認、各目標ごと				
_		ごとに目標を ものである。	設定し	人 市民0	D各年的	齢層に応じた総合	的な健康で	うくり図っ	の	アンケ	ート調	査・集	計			
手段	CUICT	507 C073°														
PX																
	2)事務	事業の手段・	対象	意図と	各指標	票、指標値の推移										
_		(担当者の活動に		76.E3 C	<u></u>	1	舌動量を表す	指標)		単位		年度	28年度	29年度	30年度	
•	7 5 72	(, 0 ->,0.33)	, , ,					30100			(実	(績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
						策定委員数				人		0.00	0.00	0.00	20.0	0.00
		に目標を設定 た、年度ごと				策定委員会開催	回数					0.00	0.00	0.00	3.0	0.00
Ø₹	確認、各	日標ごとのア				計画進行管理業	 発時問数			時間	1.9	36.00	150.00	150.00	300.0	00 150.00
<u>=</u> †	する。					112213127	33331-030			251-6		-		·		
												0.00	0.00	0.00	0.0	•
2	対象	(誰、何を対象)	にして	いるのか)		⑤対象指標 (対	対象の大きさ	を表す指標	票)	単位		年度 :績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
						市民の人口				人						00 40,848.00
				アンケートの同僚主民物												
市	氏					アンケートの回答市民数				人	909.00		900,00	900.00	900,0	900.00
										0.00	0.00	0.00	0.0	00.00		
③意図 (この事業によって対象をどう変え				⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)				単位	27年度 (実績)		28年度	29年度	30年度			
市民が生活習慣病への関心と理解を深め、自からの健康状態を自覚し、生涯にわたっ				健康を心がける延べ市民数				人		:領 <i>)</i> 73.00	(実績) 4,800,00	(計画) 5,000.00	(目標) 5,200.0	(目標) 00 5,400.00		
									4,57	3,00	4,000.00	5,000.00	J,200.C	0 5,400.00		
て健康保持・増進に努められるようにな			特定保健指導対象者数				人	50	00.00	495.00	490.00	485.0	480.00			
る。						市民健康講座参	加者数			人	21	0.00	210.00	210.00	220.0	230.00
(:	3) 投	· 公量(事業費	<u>事</u>)の:	推移		27年度	28年			29年度			30年度	31年度		期間限定
		国庫支出		千円	4	(実績)	(実績	<u>責)</u>		(計画)	0		(目標) O	(目標)	0	総投入量 O
	財	県支出	金	千円	9	0		0			0		0		O	0
投	事源为	地方(使用料・		千P 4 千P		0		0			0		0		0	0
	費訳	その作	他	ŦP.	9	0		Ō			0		0		0	0
入		一般財 事業費計(A		千円千円		0		0			0		0		0	0
	λĪ	E規職員従事。	人数	人		2.00人	2,00		2	2.00人		8	3.00人	0.00人	-0.00	
量		述べ業務時 人件費計(B		時間千円		86.00 249		49.00 142		10	0.00 290		300,00 870	10	0.00 296	
		アルコスト(A)	+(B)	- FP	9	249		142			290		870	305 (30)	296	
			28	8年度事	美賀 美	実績(千円)						-2	9年度事業費	予算(千円)		
事					#											
業					+											
費の					\perp											
内訳					+											
ōΛ					1											
					+	合 計		0						合	計	0
		を年度の実施内 を当する事業/		F 夕計画		29年度の事業内容				3O年度 ∍	の事業	内容		315	度の事業	内容
		該当する事業に 事業内容を記し				に目標設定 、 市民 標設定をし、毎年			於牛馬	支。						
	↑ क क ***	4		題抽出	1、次全	年度計画実施する。	0									
	主要事業 市長マニ	゙ フェスト ┌														
	未来PJ 合併建設	事業 計画事業	/													
		いしナ木														

事務事業名 きらり健康プランの進行管理事業	事務事業No.	20101000322	所属課	健康推進課						
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)	ハナわたのかり 問が付出さる	アンサロケギ トルベイ じこ	され ものかり							
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開かれているので、1000年3月に対した歴史が出来を集ました。1000年3月に対した歴史が出来を完成している。				面た…は化させ						
平成20年3月に桜川市健康増進計画を策定。平成25年度は中間見直しを実施し、本計画の改訂と新たな食育推進計画及び歯科保健計画を一体化させ 「きらり健康プラン」をH26年3月に策定した。										
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者) からどんな意見や要望が寄せられているか?										
きらり健康プランの策定により、改めて市の健康課題が明らかにされたので、関係機関や団体とできるだけ連携や協力を図り推進して欲しい。										
(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容										
(ア) 前回の事務事業評価に対する以中・以告の具体的内谷 特に食育推進については、農林課や生活安全課や環境対策課等連携を取り、地域での地場農産物の活用や食の安全・生ご										
みの処理等の課題についても話	し合いを持ち、市民に啓発し	ていく。								
76 ++ 76 ->-										
改革改善を行う										
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。										
	評価項目									
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結び	つくか?意図することが結果に終	きびついているか?)								
目は対ういている。日常の生活習慣に起因する生活習慣	遺病が増え続くなか、きらり@	建康プラン計画の施策をで	することは、健康	でくりの推進に結び l						
的においている。										
平)か?税金を投入して 達成する	日的か?)(法定受託事業に	はその名称)							
世	(2) 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称)									
性)保持増進を図ることで医療費	貴の軽減につながる。								
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水	準とあるべき水準との差異はない	ハか?何が原因で成果向上た	が期待できないのか	1?)						
	一画であり、市民アンケートで	*「日頃、自分の健康のだ	こめに小がけてい	る」と答える延べ市						
				01 02/02 1						
	と響の有無とその内容は 2)									
有										
効 影響有 土心色関係予防による健康の体材場		一努める。重篤な生活習慣	貫病にいたること	は、経済的にも社会						
性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	D ₀									
	性がありますか?(市以外の取り)組みも含む))								
(他に手段がある場合) □ 具体的な手段、事務事業名										
(余地がない) 健康増進計画・食育推進計画・歯科	保健計画の3計画を一体化る	させ、具体的な健康づくり	2活動目標を示し	ている計画なので統						
廃合はできない。										
- 6事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除でき	ないか?やり方を工夫して	Eベ業務事業を削減できた	まいか?)							
対 を 性 「削減余地がない 計画の進行管理事業であり、今年度においては予算化していない。										
公 ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者	に偏っていて不公平ではないか	?受益者負担が公平・公正に	こなっているか?)							
平 性 <u>公正・公平である</u> 市民誰もがライフスタイルに合わせ	トた健康ベイハができる計画で	*								
te Zar Zar Coo Inchie Co. Jan	に対象してもなっている。	_ める。								
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算	(への反映)									
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り	—								
	次年度予算及び事業計画時間	こ事業の振り返りを実施!	し方向性を検討し	<i>、</i> ている。						
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり										
②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり → □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										
③効率性										
→ □ □ □ 兄回し赤地のり 										
(3) 今後の事業の方向性			(1) 750	功美にトフ切けみ田						
	(複数回答可)			改善による期待成果・休止の場合は記入不要)						
□ 終了 ■ 継続 → ■ 改革改善を行う→ □			(常) * 発圧							
				コスト						
□ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 □ □	統廃合ができる [] 連携ができる 丿		削減 維持 増加						
 (5) 改革,改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解	· 注等			0						
3計画をそれぞれ目標値をあげて事業実施している。特に市民健康		及啓発やがん検診受診状								
況については、無料クーポン等による受診勧奨をした。特に食育推進計画や歯科保健計画の推進は他関係化との連携が必果持										
要であり、具体的に実施を進めていく必要がある。 低										
			(6)	W = 4 d== 1 = 1						
(6)事務事業優先度評価結果										
			成果優先度評	価結果						
			コスト削減優知	5度評価結果						
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項										
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評	価 (課長評価により、	C、D判定及び確	智認が必要な場合)						
課長確認後の評価	T欠≡刃+88									
↑ . ## (理學##) ○ . ## ## ## ## ## ## ##	確認欄									